

救急☆3分トレーニング

Vol. 11

救急課 高度救急研修センター



この「救急☆3分トレーニング」は、救急隊員等が日ごろ疑問に思っていることや、知っているようで知らないこと、何となく他人に聞くのが恥ずかしいことなどを、分かりやすく、3分以内で解決するトレーニングです。新しい隊員さんだけでなくベテランさんも、出動の合間にササッと御覧いただき、今後の救急活動に役立ててください。

★AEDパッド装着時の注意点



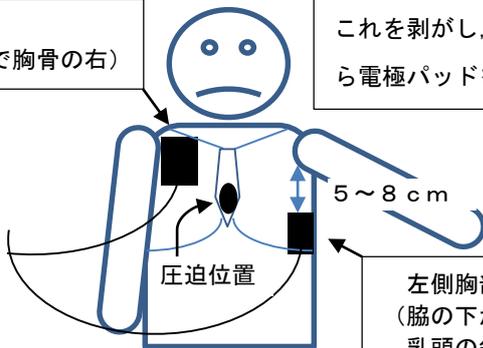
パッドを装着する間も、できる限り胸骨圧迫は継続しよう！

傷病者の胸が濡れている場合は、タオル等で胸を拭いてからパッドを貼り付ける。(パッドが貼り付かないだけでなく、電気が体表を伝わって流れてしまう。)

電極パッドを貼る位置に、貼り薬や湿布薬が貼られている場合は、まずこれを剥がし、薬剤を拭き取ってから電極パッドを貼り付ける。

子供など、体が小さく、パッド同士が接触してしまう場合は、前胸部と背部に貼る。

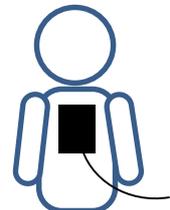
右前胸部
(鎖骨の下で胸骨の右)



左側胸部
(脇の下から5~8cm下、
乳頭の斜め下)



前胸部



背部

未就学児は小児用パッドを使用する。
小児用パッドがない場合は、成人用を使用する。
(成人に小児用パッドは使用しない)

胸にペースメーカーが植え込まれている場合は、その部分の出っ張りを避けて電極パッドを貼る。

電気ショックに使用される電圧は1,200~2,000V程度、電流は30~50A程度、電気が流れる時間は1,000分の1秒~100分の1秒程度です。

パッドは、傷病者の皮膚にしっかりと全面を密着させなければなりません。
(空気や衣服、アクセサリーなどを挟み込まない！)
るいそうの方など、肋間のくぼみで密着が不十分になると、その部分でショートし、熱傷を負うことがあります。

傷病者が風呂などに浸かっている場合は、体を引き上げる必要があります。雪や氷、プールサイドなどの濡れた床の上に倒れている場合は、電極パッドが水に濡れなければ、傷病者を移動せずにAEDを使用します。